

漢法苞徳塾資料	No. 066
区分	臨床報告
タイトル	経筋変動の診察と治療　－症例の検討－
著者	八木素萌
作成日	

## 経筋変動の診察と治療　－症例の検討－

患者名　H. Y.

性別　♂

年齢　41才

## 主訴

半月ほど前から左手が上がらないし、左肩甲骨部が非常に痛む。

風呂に入ったり・暖めたり・患部に日が当たったりすると痛みが増す。

## 問診

どんな状況で痛くなったか？

思い当たる原因は？

病気がありますか？

## 答え

ベッドに仰臥していた時に、大切なものが落ちてきたので、破損させてはいけないと思い、とっさに左手を伸ばして、それを受け止めようとした時に、下後方に無理な腕の伸ばし方になった。その時に局部のあたりで異常な音がし、その後非常に痛んだ。家事に関連して立場上無理が重なっていたが、特に病気とか疲れてはいたが過労状態とは言えない。

## 触診

症候は筋肉に無理が掛ったために起こっているのが基本的なもので、臓腑経絡の病的変化の故であると言うよりも、筋肉の外傷に基づいた経筋の変動として診られるものであると言う判断から、いずれの経筋が変動しているかを触診して、その結果によって治療する事にし、次のように触診した。

図

- ア) 痛む部位の確認の為の触診
- イ) 患部と健部の体表温度の比較
- ウ) 患部に関連する経筋を確認する為の触診では、  
左手陽明経筋・左手太陽経筋・左手太陰経筋・  
足左経筋ほかに左手少陽と左手少陰と左手厥陰の経筋  
などの結ばれ部を按压・撮蝕
- エ) 経筋変動を確認する為の触診部位は、次の通り  
手太陰経筋――雲門穴下部付近・肩前穴付近・尺沢穴付近・経渠穴付近  
手陽明経筋――  
手太陽経筋――  
足太陽経筋――  
足太陽経筋――
- オ)

#### 運動診

- ア) 側腕を自動的および他動的に動かして、違和・故障の程度を診る
- イ) 頷の自動的な振り返り動作を診て、違和と運動障害の程度を診る